

PHJ メールニュース 2011 年 12 月号

送信日時 2011 年 12 月 22 日



ピープルズ・ホープ・ジャパン (PHJ) メールニュース読者の皆様

2011 年も後 1 週間で終わります。今年には大きな災害が日本を襲い、トルコで地震が、東南アジアで洪水が人々の生活を一変させました。来年は喜びの多い年となるように願ってやみません。PHJ メールニュース 2011 年 12 月号を配信いたします。

このメールニュースは配信を希望するとの連絡を送っていただいた方々、PHJ 運営委員 (オブザーバーとして出席されている方を含む) の方々、および PHJ を支援してくださっている方々にお送りしています。

---

#### PHJ メールニュース 12 月号目次

##### 1. PHJ 本部のニュース

- 1-1. 「東日本大震災」支援―復興に向けての協力
- 1-2. カンボジア・タイ洪水募金についての報告
- 1-3. 第 44 回運営委員会と五月女理事の講演
- 1-4. 2012 年春スタディツアーの参加者募集中
- 1-5. スタッフブログ

##### 2. PHJ タイ事務所のニュース

- 2-1. HOPE パートナー教育事業
- 2-2. 小児先天性心臓病手術
- 2-3. 洪水被災者の支援活動

##### 3. PHJ インドネシア事務所のニュース

- 3-1. 母子健康改善活動 ―バンタン州セララン県テイルタヤサ自治区
- 3-2. 地域医療システム強化活動 ―テイルタヤサ自治区
- 3-3. 画像診断技術研修 ― バリ州ギヤーニアー県

##### 4. PHJ カンボジア事務所のニュース

- 4-1. 健康な村づくり事業 ―コンポントム州
  - 4-2. 助産師トレーニング事業 ―プレイベン州
-

## 1. PHJ 本部のニュース

### 1-1. 「東日本大震災」支援 ー復興に向けての協力

PHJ の復興支援は気仙沼を中心に行っています。気仙沼医師会のご協力をいただき必要な機器のリストを作成し、12月初めに医療機器（168 個）、什器(282 点)などを被災し、要求のあった 20 の病院へ寄贈しました。

[http://blog.livedoor.jp/ph\\_japan-saigai/archives/53306402.html](http://blog.livedoor.jp/ph_japan-saigai/archives/53306402.html)

### 1-2. カンボジア・タイ洪水募金についての報告

夏から続いていた大雨による洪水の被害を受けていたカンボジアでもやっと水がひきました。収穫前の稲が水につかったり、流されて農村では食料、来年の種もみほか収入源が脅かされています。村から出稼ぎにでる人々もたくさんいるのが現状です。衛生面では感染症、皮膚病が被災者を悩ませています。

洪水募金には多くの個人、法人会員、団体のご協力をいただき、12月初めには目標額 250 万円の 90%を集めることができました。

PHJ では 12 月 16 日(金)JICA 地球ひろばで「カンボジア洪水被災地の今と支援について(カンボジア駐在員がスカイプ参加!)」報告会を開催しました。

[http://blog.livedoor.jp/ph\\_japan/archives/52049361.html](http://blog.livedoor.jp/ph_japan/archives/52049361.html)

### 1-3. 第 44 回運営委員会と五月女理事の講演

12 月 15 日(木) 5:00-8:00pm 日本 HP 株式会社のカフェテリアをお借りして第 44 回運営委員会を開催しました。PHJ 活動報告の前に、PHJ 理事、外務省初代 NGO 大使、五月女光弘氏より「国際貢献と恩義の輪廻」について講演をしていただきました。東日本大震災に際し世界中から災害支援としては史上最高の支援と義捐金が日本に寄せられた理由は、これまで日本が各国を支援してきたからのみならず、日本が世界から好かれていることなどを述べられ、出席者に勇気と自信を与える講演でした。

活動報告はインドネシアとカンボジア、タイは担当スタッフが、また東日本大震災復興支援についても担当スタッフが報告いたしました。

東日本大震災の支援で PC のソフトウェアをボランティアでインストールして下さった日本 HP 社員を含む、多くのオブザーバーが出席され、PHJ についてご紹介する機会となりました。

### 1-4. 2012 年春スタディツアーの参加者募集中

「タイとカンボジアの農村にすむ人々の健康と医療を考える旅」を 2012 年 3 月 11 日から 18 日まで実施します。農村やその周辺の医療機関への訪問、地元大学でのエイズ教育

に参加など、個人旅行では経験できないその国のリアルな姿をみることができます。現地の人へのインタビューやプレゼンテーションなど、コミュニケーションを重視した参加型プログラムです。これまでの参加者は医療従事者、大学生、社会人などさまざまなジャンルの方です。

<http://www.ph-japan.org/news/detail.php?q=news4edf3105e4d2b>

#### 1-5. スタッフブログ

タイ、カンボジア、インドネシア、東京事務所の活動報告をスタッフ、インターンが掲載しています。どうぞご覧ください。

[http://blog.livedoor.jp/ph\\_japan/](http://blog.livedoor.jp/ph_japan/)

.....

### 2. PHJ タイ事務所のニュース

#### 2-1. HOPE パートナー教育事業

1998年以來 累計216名の患者を支援し、そのうち131名が卒業しました。現在62名の患者を63名のドナーが支援しています。11月にはサンパトン病院、チェンライ病院、サンサイ病院、RICD病院で定例活動を実施しました。テーマは「食育」です。合計37家族が参加しました。12月には「ドナーへのクリスマスカードと年賀状づくり」を実施します。55家族が参加予定です。

[http://www.ph-japan.org/program/Thailand/hope\\_partner.html](http://www.ph-japan.org/program/Thailand/hope_partner.html)

#### 2-2. 小児先天性心臓病手術

11月には2名の手術を実施しました。また昨年度手術を受けた患者3名のフォローアップのため家庭訪問を行いました。全員健康に暮らしていることがわかり安心しました。12月にも1名の手術を予定しており、また家庭訪問も計画しています。

[http://www.ph-japan.org/program/Thailand/hope\\_partner.html](http://www.ph-japan.org/program/Thailand/hope_partner.html)

#### 2-3. 洪水被災者の支援活動

PHJ タイ事務所のあるチェンマイ県では洪水の被害はほとんどありませんでしたが、PHJでは11月初めと中旬、チェンマイ保健局経由で簡易トイレ211個とTシャツ(合計で73,770パーツ、約18万円)を寄贈しました。11月9日にはPHJスタッフがパヤップ大学チームと一緒に被災地に行き、現状把握とニーズ調査を行い、トイレの配布も実施しました。また11月末にYMCA バンコック経由で100個のリリーフセット(蚊帳、おむつなど58,000パーツ、約14万円)を寄付しました。

[http://blog.livedoor.jp/ph\\_japan/](http://blog.livedoor.jp/ph_japan/)

.....

### 3. PHJ インドネシア事務所のニュース

#### 3-1. 母子健康改善活動 —テイルタヤサ自治区

プサール村の診療所・助産所は適切な申請がないまま壁に穴があげられたりして、支障をきたしていました。修復工事が完成、不足していた医療資材を寄贈して利用できるようになりました。7月に仮オープンしたクマニサン村の診療所、助産所を寄贈して下さったロート製薬株式会社のインドネシア社長、副社長、村の村長・保健所長他 25 人が出席し 10 月 24 日に開所式を行いました。

[http://www.ph-japan.org/program/Indonesia/PRG\\_Community.html](http://www.ph-japan.org/program/Indonesia/PRG_Community.html)

#### 3-2. 栄養改善活動 —テイルタヤサ自治区

栄養不良児撲滅を目標に、栄養活動が継続するよう、14 か所で菜園を作り、なす、きゅうり、とうもろこし、パパイヤなどの作付を終えました。降水量が少なく、各地区で工夫して水やりを行っています。数か月後の収穫が楽しみです。山羊、羊からの防御垣根も設置しました。

#### 3-3. 画像診断技術研修— バリ州ギアーニア一県

5 回目の超音波画像診断研修を 11 月 28 日から 12 月 8 日まで、聖マリアンナ医科大学の技師を派遣してギアーニア病院と診療所で実施しました。

[http://www.ph-japan.org/program/Indonesia/PRG\\_Medical.html](http://www.ph-japan.org/program/Indonesia/PRG_Medical.html)

\*\*\*\*\*

### 5. PHJ カンボジア事務所のニュース

洪水対応を行いながら通常の活動をやりくりしています。

#### 4-1 健康な村づくり事業 —コンボントム州

3 保健センターでのスタッフ会議中 2 センターの会議に PHJ のスタッフも参加し、担当村の洪水・保健状況、スタッフが参加した外部ワークショップ報告、センター内での課題について話し合いました。

センター運営委員、保健ボランティア会議では洪水後の事情で参加率は低いのが目立ちました。洪水のため村から出られず、伝統的産婆を頼った自宅出産もありましたが、村と保健センター、保健センターから病院への移送も行われシステムとして機能していることも確認できました。1 つの保健センターでは病院への移送が 6 件と多かったにも関わらず、無事に移送され母体も無事に出産にこぎつけました。

政府が推奨しているコミュニティー・ケア・ワーカー (CCW) について 10 月に 2 つの保健センター管轄下の 10 村で選出された 30 名を対象に 11 月 18-20 日トレーニングを実施

しました。

洪水の支援キット配布時に保健教育・衛生教育を 15 か所で実施し、26 村で合計 4,720 人が受講しました。行政からリクエストを受け、特別編で中学生にも衛生教育を実施しました。

<http://www.ph-japan.org/program/Cambodia/babyhealth.html>

#### 4-2. 助産師トレーニング事業 – プレイベン州

11 月には活動はなく、今後 12 月、3 月、6 月の 3 回、各 2 名の保健センター助産師を対象に実施する予定です。

<http://www.ph-japan.org/program/Cambodia/midwife.html>

\*\*\*\*\*

---

#### ■ イーココロ クリック募金にご協力ください！

##### イーココロ！クリック募金

ピープルズ・ホープ・ジャパンは募金サイト イーココロ！「クリックから世界が変わる、毎日無料でできるいいこと」に参加しています。<http://www.ekokoro.jp/ngo/195/>

---

PHJ メールニュース 2011 年 12 月号を最後まで読んでいただきありがとうございます。

このメールニュースへのご意見、ご要望は [info@ph-japan.org](mailto:info@ph-japan.org) までお送りください。次号の参考にさせていただきます。

メールニュースのバックナンバーは PHJ ホームページでご覧になれます。

<http://www.ph-japan.org/about/mailnews/index.html>

またこのメールニュースの配信を希望されない方は [info@ph-japan.org](mailto:info@ph-japan.org) までメールニュース配信不要とご連絡ください。

\*\*\*\*\*

発行者：

認定 NPO 法人 ピープルズ・ホープ・ジャパン

代表 木村 敏雄

広報 矢崎 祐子、南部 道子

〒180-8750 東京都武蔵野市中町 2-9-32

Tel:0422-52-5507 Fax:0422-52-7035

e-mail: [info@ph-japan.org](mailto:info@ph-japan.org)

URL: <http://www.ph-japan.org>

Copyright: 2011 ピープルズ・ホープ・ジャパン

\*\*\*\*\*